

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

頭痛・生理痛に

販売名：ポパドンIP錠

解熱鎮痛薬

ポパドンIP錠

痛みのもとをブロックするイブプロフェン配合

- ポパドンIP錠は痛みや熱の原因となる物質の生成を抑えるイブプロフェンと鎮痛作用を補助するアリルイソプロピルアセチル尿素、無水カフェインを配合した解熱鎮痛薬です。



使用上の注意



してはいけないこと

[守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります]

- 次の人は服用しないでください
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
(3) 15才未満の小児。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気があらわれることがあります)
- 服用時は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 授乳中の人。
(4) 高齢者。
(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(7) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
(8) 次の病気にかかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。

▼裏面もお読みください

症状の名称	症 状
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合。

3. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
便秘、下痢

効能・効果

- 頭痛・生理痛・咽喉痛・関節痛・神経痛・打撲痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・骨折痛・ねんざ痛・歯痛・抜歯後の疼痛・耳痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の1回量をなるべく空腹時をさけて服用してください。
服用間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1 回 量	服用回数
成人(15才以上)	2錠	1日3回を限度とする
15才未満	服用しないでください	

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
(2) 錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してください。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



成分・分量 6錠中

は た ら き	成 分	分 量
熱や痛みの原因物質の生成を抑えて、発熱や頭痛、生理痛などをしずめます	イブプロフェン	450mg
鎮静作用により鎮痛作用を助けます	アリルイソプロピルアセチル尿素	180mg
頭痛をやわらげます	無水カフェイン	240mg

添加物：ヒドロキシプロピルセルロース、セルロース、無水ケイ酸、ステアリン酸Mg

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
(2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
(3) 他の容器に入れかえないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります)
(4) 使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。



本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

米田薬品株式会社 お客様相談窓口

電話 06-6562-7411 受付時間 10:00～17:00 (土、日、祝日を除く)



米田薬品株式会社
大阪市浪速区塩草3丁目2-2